

施策番号	2201	成果指標					
		指標名	単位	区分	H29	H30	R1
施策名	多様なスポーツの機会を提供します	日頃から運動やスポーツをしている区民の割合	%	目標	63.5	65.3	66.5
				実績	62.5	61.8	68.6
		—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—
		—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—

		事務事業	担当課	区分	頁
	計画	区民健康スポーツ参加促進事業	生涯スポーツ課	◎	1331
	計画	高齢者の健康づくりの推進	生涯スポーツ課	◎	1333
	計画	障害者スポーツの推進	生涯スポーツ課	◎	1335
		かつしか地域スポーツクラブを中心としたスポーツ環境整備	生涯スポーツ課	◎	1337
		キャプテン翼CUPかつしかの開催	生涯スポーツ課	◎	1339
		かつしかふれあいRUNフェスタ事業	生涯スポーツ課	◎	1341
		スポーツフェスティバル	生涯スポーツ課	◎	1343
		スポーツ推進委員との協働事業	生涯スポーツ課	◎	1345
		区民体育大会	生涯スポーツ課	◎	1347
		少年スポーツ等推進	生涯スポーツ課	◎	1349
		地域スポーツ活動推進	生涯スポーツ課	◎	1351
		スポーツ推進委員委嘱	生涯スポーツ課	○	1353
		体育協会助成	生涯スポーツ課	○	1354
		文化・スポーツ活動費助成	生涯スポーツ課	○	1355

- ※「計画」は、後期実施計画に位置付けている事務事業であることを表します。
 ※「◎」は、事務事業評価表を作成した事務事業であることを表します。
 ※「○」は、事務事業一覧表を作成した事務事業であることを表します。

事務事業評価表

事務事業名	区民健康スポーツ参加促進事業				担当部	教育委員会事務局			関係課	—
					担当課	生涯スポーツ課				
開始年度	平成28年度				個別計画	スポーツ推進計画				
根拠法令	—									
予算説明書	会計	一般	款	8	項	7	目	1	説明等	3(2)
事務事業目的	<p>(一社)葛飾区体育協会と協働して、体育協会加盟団体のスポーツ種目を中心に、高齢者・障害者・ジュニア層・働き盛り世代など、あらゆる世代を対象として、運動経験の少ない方や初心者向けのスポーツ教室、体験会などの事業を実施して、スポーツ実施者のすそ野を拡大する。</p>									
実施内容	<p>促進事業の内容は、主な対象者を区民とする次に掲げる事業とする。</p> <p>(1) 概ね60歳以上を対象とする初心者スポーツ教室、スポーツに関する講演会や講習会等</p> <p>(2) 障害のある者を対象とするスポーツ教室、交流大会等 (ただし障害のない者の参加を妨げるものではない。)</p> <p>(3) ジュニア層を対象とする初心者スポーツ教室、スポーツに関する講演会や講習会等</p> <p>(4) 未就学児とその保護者を対象とするスポーツ事業（特に、定期的、継続的に実施する、概ね8回以上のスポーツ教室等を推奨する。)</p> <p>(5) 継続的にスポーツ活動を実践するために、その動機付けとなる事業（特に、働き盛り世代が参加しやすい工夫を施した事業の実施を推奨する。)</p> <p>(6) 広く区民が参加できるスポーツ事業</p> <p>(7) 審判その他のスポーツ指導者を育成する事業</p> <p>(8) その他、区民のスポーツ実施率向上を図り、区民の健康寿命の延伸に寄与する目的とした事業。</p> <p>区は上記事業の実施のため、(一社)葛飾区体育協会の運営を支援し、事業運営経費の一部を補助する。</p>									

指標		指標の根拠	単位	区分	H29	H30	R1
成果	参加者数	参加者数 (指導者・役員等は除く)	人	目標	1,500	2,400	3,000
				実績	2,489	2,608	2,697
活動	実施件数	事業実施件数	事業	目標	15	20	30
				実績	20	27	28
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—

コスト内訳（千円）			H29	H30	R1
収入	特定 財源	国庫支出金	0	0	0
		都道府県支出金	0	0	0
		その他	0	0	0
	一般財源	(a)	5,961	7,472	7,902
支出	直接事業費	(b)	5,286	6,782	6,717
	職員人件費	(c)	675	690	1,185
		業務量（人）	0.15	0.15	0.15
	間接費	(d)	0	0	0
	調整額	(e)	0	0	135
	減価償却費		0	0	0
	金利		0	0	0
	退職給与引当		0	0	135
	（控）コスト対象外		0	0	0
	トータルコスト	(f=b+c+d+e)	5,961	7,472	8,037

単位当たりコスト（円）	H29	H30	R1	
単位の定義	参加者数			
実績数値	(g)	2,489	2,608	2,697
単位あたり区単コスト	(a/g)	2,395	2,865	2,930
単位あたりコスト	(f/g)	2,395	2,865	2,980

実施状況に対する評価	<p>昨年度の27事業から2事業を増やして29事業で計画していたが、新型コロナウイルスの影響で1事業が中止となり、最終的に28事業を実施した。内訳はジュニア向け11事業（うち1事業中止）、審判・指導者講習会3事業、シニア向け4事業、年齢不問10事業、その他1事業であった。</p> <p>体育協会の各団体は当制度を活用して、毎年定着化させる事業がある一方で、事業内容の見直しや改善を図る事業も多く見られ、創意工夫しながら競技人口の向上に努めている。</p>
今後の方向性【継続】	<p>体育協会に加盟する各団体における競技の特性によって、興味を持つ世代や性別、競技人口は大きく異なる。各団体の現状を踏まえたうえで、競技人口の増加や競技力の向上に向けて、体育協会とともに支援・助言していく。</p> <p>併せて、これまで展開が難しかった「働き世代」に向けた事業の拡大を目指す。多くの団体に事業を実施してもらうことで、区民にも多様な選択肢を用意し、参加者を増やしてスポーツ人口の底上げを図っていく。</p> <p>引き続き、いつでも、どこでも、だれもがスポーツに参加できる事業を、体育協会とともに取り組んでいく。</p>

事務事業評価表

事務事業名	高齢者の健康づくりの推進						担当部	教育委員会事務局		関係課	—
							担当課	生涯スポーツ課			
開始年度	—						個別計画	スポーツ推進計画			
根拠法令	スポーツ基本法										
予算説明書	会計	一般	款	8	項	7	目	1	説明等	2(5)	
事務事業目的	<p>高齢者健康体操プログラムの提供やスポーツ指導員の養成などの環境整備をすることにより、高齢者が自主的・積極的に安心してスポーツを行うことができる環境づくりを進める。</p>										
実施内容	<p>【概要】 高齢者が自主的・積極的に安心して運動を行うことができる環境整備として定期的に体力テスト測定会を実施し、継続的にスポーツを行う啓発を進めるとともに、スポーツのきっかけづくりの場として各種スポーツ教室やプログラムの提供を行う。併せて、指導員の養成講習会などの実施して活用することで人材育成を図る。また、高齢者を対象とした誰もが気軽に参加できるシルバーエンジョイスports大会及び、一般区民おおむね40歳以上の熟練者を対象としたマスターズ大会を区・教育委員会・体育協会主催で開催する。 区は事業の企画・立案、事業実施に必要な指導員の手配、各種契約、広報等の関連事務を行う。スポーツ教室・スポーツ大会の運営は基本的に各スポーツ団体や指定管理者に委託して実施する。</p> <p>【活動内容】 ①区民向け体力テストの実施 ②スポーツ指導員およびスポーツボランティアの養成・活用 ③各種スポーツ教室の実施（高齢者健康体操教室、ウォーキングイベント、推奨スポーツ3種類の教室など） ④スポーツ大会の実施</p>										

指標		指標の根拠	単位	区分	H29	H30	R01
成果	スポーツ指導員及びスポーツボランティア登録数	スポーツ指導員認定登録者＋スポーツボランティア認定新規登録者	人	目標	80	80	80
				実績	100	85	59
成果	高齢者スポーツ事業(教室)の参加人数	体力テスト＋ウォーキングランニング事業＋高齢者健康体操教室	人	目標	—	—	1,700
				実績	1,336	1,638	2,066
活動	推奨スポーツの大規模大会	2013東京国体で本区が会場となった競技の大会実施数	大会	目標	3	3	3
				実績	3	3	3
活動	区民向け体力テストの実施	開催地域数×回数	回	目標	14	14	14
				実績	14	14	17
活動	ウォーキング・ランニング推進（マップ活用事業）	ウォーキング教室・ランニング教室の実施回数	教室	目標	—	—	6
				実績	—	—	6
活動	高齢者健康体操教室	開催教室数	教室	目標	8	8	8
				実績	8	8	8
活動	スポーツ指導員養成	講習会（専門科目）の実施種目数	種目	目標	3	3	3
				実績	3	3	3
活動	スポーツボランティア講習会	研修等実施回数	回	目標	2	2	2
				実績	2	2	2

コスト内訳（千円）		H29	H30	R01	
収入	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		都道府県支出金	0	0	0
		その他	0	0	0
	一般財源 (a)	15,637	18,987	15,579	
支出	直接事業費 (b)	8,237	11,617	6,889	
	職員人件費 (c)	7,400	7,370	8,690	
		業務量（人）	1.10	1.10	1.10
	間接費 (d)	0	0	0	
	調整額 (e)	665	700	990	
		減価償却費	0	0	0
		金利	0	0	0
		退職給与引当	665	700	990
		(控) コスト対象外	0	0	0
トータルコスト (f=b+c+d+e)	16,302	19,687	16,569		

単位当たりコスト（円）	H29	H30	R01
単位の定義	延べ参加者数（人）		
実績数値 (g)	5,009	5,507	6,380
単位あたり区単コスト (a/g)	3,122	3,448	2,442
単位あたりコスト (f/g)	3,255	3,575	2,597

実施状況に対する評価	<p>令和元年度から新たに実施したランニング・ウォーキング事業では、6回の教室で70人が参加したほか、ランニングステーションを区内18か所に設置し、年間延べ502人の利用があった。さらに、高齢者健康体操、シルバーエンジョイスports、マスターズ大会については前年参加者数を上回ったため、全体の参加者数は大幅に増加した。</p> <p>しかし、体力テスト測定会では地区における全体の参加者数が昨年より約3割減少した。このため、出前形式による実施を試み、2箇所では160人が参加し、多くの方に簡単にできる体力テストを体験してもらうことができた。</p> <p>なお、高齢者推奨Sportsの3教室については、令和元年度から区民健康Sports参加促進事業として実施している。また、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3月に実施予定であったシティロゲイニングは中止となった。</p>
今後の方向性【改善】	<p>体力テスト測定会について、令和2年度はこれまでの実施体制を見直し、会場に奥戸・水元の体育施設を使用し、年2日に集約して大規模な体力測定会を実施する。</p> <p>令和元年度までに8会場で開催してきた高齢者健康体操教室だが、令和2年度から一部の会場（3会場）につき、地域スポーツクラブプログラムによる運営や地域のサークル活動へ完全移行する。区としての実績は減少するが、多様なプログラムを提供する地域スポーツクラブへの参加に結び付けるとともに、クラブの活性化を図るほか、地域Sportsの自主自立を促進する。</p> <p>引き続き、高齢者が参加しやすいプログラムを実施していくとともに、Sports指導員ほかSportsボランティアの育成及び研修に力を入れ、高齢者におけるSports人口の拡大と健康寿命の延長に向けた施策を展開する。</p>

事務事業評価表

事務事業名	障害者スポーツの推進						担当部	教育委員会事務局		関係課	障害福祉課
							担当課	生涯スポーツ課			
開始年度	—						個別計画	スポーツ推進計画			
根拠法令	—										
予算説明書	会計	一般	款	8	項	7	目	1	説明等	2(6)	
事務事業目的	障害者にスポーツ教室や障害者スポーツ指導員の養成などの環境を整備することにより、自主的・積極的に安心してスポーツを行うことができる環境づくりを推進する。										
実施内容	<p>【概要】 障害者が自主的・積極的に安心してスポーツを行うことができる環境整備として、スポーツのきっかけづくりの場として各種スポーツ教室やプログラムの提供を行う。併せて指導員の養成講習会の実施や指導機会を提供するなど人材育成を図る。 区は事業の企画・立案、事業実施に必要な指導員の手配、各種契約、広報等の関連事務を行う。スポーツ教室・講習会・スポーツ大会の運営は基本的に各スポーツ団体や指定管理者に委託して実施する。</p> <p>【活動内容】 ①障害者専用水泳レーン及び水泳教室の実施 ②障害者向けスポーツ教室及びスポーツ開放の実施 ③障害者が参加できるスポーツ大会の実施 ④障害者スポーツ指導員の養成及び活用</p>										

指標		指標の根拠	単位	区分	H29	H30	R1
成果	障害者スポーツ教室参加者総数(トランポリン、複数種目、水泳、短期水泳、専用レーン、ボッチャ、ユニバーサルスポーツ)	障害者教室事業における延べ参加者数	人	目標	—	—	1,600
				実績	1,584	1,391	1,277
活動	葛飾区ボッチャ協会	活動内容	—	目標	設立	普及	普及
				実績	設立	普及	普及
活動	障害者スポーツ教室(複数種目・トランポリン)	実施回数	回	目標	24	24	24
				実績	24	24	23
活動	障害者水泳教室・専用レーン、夏季短期水泳教室	実施回数	回	目標	46	46	46
				実績	46	46	41
活動	フロアホッケー普及事業	大会・教室・開放事業実施回数	回	目標	1	1	2
				実績	1	2	8
活動	ボッチャ普及事業	大会・教室・開放事業実施回数	回	目標	40	44	44
				実績	42	47	40
活動	障害者指導員養成・活用	指導員認定人数	人	目標	10	10	10
				実績	9	11	7

コスト内訳（千円）			H29	H30	R1
収入	特定 財源	国庫支出金	0	0	0
		都道府県支出金	3,000	3,000	2,634
		その他	0	0	0
	一般財源 (a)	10,232	10,708	10,182	
支出	直接事業費 (b)	4,807	5,318	4,916	
	職員人件費 (c)	8,425	8,390	7,900	
		業務量（人）	1.25	1.25	1.00
	間接費 (d)	0	0	0	
	調整額 (e)	760	800	900	
		減価償却費	0	0	0
		金利	0	0	0
		退職給与引当	760	800	900
		(控) コスト対象外	0	0	0
トータルコスト (f=b+c+d+e)	13,992	14,508	13,716		

単位当たりコスト（円）	H29	H30	R1
単位の定義	参加者数		
実績数値 (g)	1,584	1,391	1,277
単位あたり区単コスト (a/g)	6,460	7,698	7,973
単位あたりコスト (f/g)	8,833	10,430	10,741

実施状況に対する評価	<p>夏の短期障害者水泳教室は例年どおり実施したが、4日間のうち1日が高温のため中止となった。また、障害者水泳教室及び水泳専用レーン、ボッチャ教室、レクリエーションボッチャ一般開放をはじめ、教室事業は前年どおり計画していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3月の事業はすべて中止した。このため、実施回数及び参加者数が減少している。</p> <p>ボッチャ交流大会は令和元年度から葛飾区ボッチャ協会が運営し、アスリートを招いた体験会も実施した。</p> <p>フロアホッケー大規模大会も昨年に続いて実施し、毎年実施する体制づくりを構築した。また、令和2年1月からエイトホールの個人利用枠で利用者が少なかった枠を活用し、ユニバーサルスポーツの普及を図るための開放事業を開始し、6回実施した。なお、運営は区内にある障害者スポーツ団体の関係者が担っている。</p>
今後の方向性【改善】	<p>障害者向けのスポーツ教室は年々参加者が減少している。既存の参加者だけでなく、今後は新規施設への呼びかけや告知方法の改善など、新たな参加者を開拓していく。</p> <p>鎌倉公園プールが令和元年度で廃止されたため、令和2年度以降、夏の短期水泳教室は水元小合学園での実施を計画している。</p> <p>引き続き東京2020パラリンピック大会に向けて、公式種目であるボッチャ競技の普及をはじめ、障害者が自主的に安心してスポーツ活動に取り組めるよう、事業の改善に取り組んでいく。</p>

事務事業評価表

事務事業名	かつしか地域スポーツクラブを中心としたスポーツ環境整備					担当部	教育委員会事務局	関係課	地域振興課 教育総務課	
						担当課	生涯スポーツ課			
開始年度	平成20年度					個別計画	スポーツ推進計画			
根拠法令	スポーツ基本法									
予算説明書	会計	一般	款	8	項	7	目	1	説明等	1(2)
事務事業目的	かつしか地域スポーツクラブを区とのスポーツ協働事業や地域コミュニティの促進などの役割を担っていただけるよう育成・支援を図り、健康でともに支えあい、いきいき暮らせる地域社会づくりの一助とする。									
実施内容	<p>【概要】 かつしか地域スポーツクラブが地域スポーツ推進の担い手として重要な役割を果たしていただけるよう、さらなる育成と活動の充実を図りながら、スポーツ環境を整備し、地域住民が主体的に取り組むスポーツを通じたコミュニティ拠点として、充実・発展していくことを促進する。 区は団体に対し運営を支援し経費の一部を補助する。また、団体に委託して学校連携事業等を協働で実施する。</p> <p>【活動内容】 ①区とのスポーツ協働事業 ②学校との連携事業（地域スポーツクラブを通して、学校にアスリートの派遣等を行う） ③民間団体等とのスポーツ協働事業</p>									

指標		指標の根拠	単位	区分	H29	H30	R1
成果	延べ参加者数	年間プログラム総参加者数	人	目標	53,760	56,160	65,760
				実績	57,307	62,429	56,739
成果	スポーツクラブ会員総数	スポーツクラブ会員総数 (年度末の数値)	人	目標	1,120	1,170	1,220
				実績	1,292	1,347	1,299
活動	高齢者健康促進事業	事業数	—	目標	検討	2	2
				実績	8	8	8
活動	ジュニア世代健康促進事業	事業数	—	目標	2	2	2
				実績	2	2	2
活動	働き世代健康促進事業	事業数	—	目標	検討	検討	検討
				実績	検討	検討	検討
活動	学校との連携事業 (学校体育事業にアスリート派遣等)	実施日数	—	目標	27	27	27
				実績	32	31	31

コスト内訳（千円）		H29	H30	R1	
収入	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		都道府県支出金	0	0	0
		その他	0	0	0
	一般財源 (a)	10,368	9,988	11,653	
支出	直接事業費 (b)	3,168	2,878	4,938	
	職員人件費 (c)	7,200	7,110	6,715	
		業務量（人）	0.90	0.90	0.85
	間接費 (d)	0	0	0	
	調整額 (e)	855	900	765	
		減価償却費	0	0	0
		金利	0	0	0
		退職給与引当	855	900	765
		（控）コスト対象外	0	0	0
	トータルコスト (f=b+c+d+e)	11,223	10,888	12,418	

単位当たりコスト（円）	H29	H30	R1
単位の定義	延べ参加者数（年間プログラム総参加者数）（人）		
実績数値 (g)	57,307	62,429	56,739
単位あたり区単コスト (a/g)	181	160	205
単位あたりコスト (f/g)	196	174	219

実施状況に対する評価	<p>地域スポーツクラブの会員総数が、初めて減少に転じた。参加者数及びプログラム実施数については新型コロナウイルス感染拡大防止のために3月のプログラムを中止したことで、どちらも前年比約1割の減となった。</p> <p>一方で、ジュニア硬式テニス教室については特別講師として、葛飾区トップアスリートである西村佳奈美選手を初めて招聘し、参加者が身近に触れ合える場を設けた。また、オリパラ気運醸成イベントとして、両クラブのイベント（フェスタ）内で、一流アスリートによるトークショー等を展開し、地域スポーツクラブが区民にとって身近なものとなるようPRの機会を設けた。</p>
今後の方向性【継続】	<p>区民のスポーツを通じた健康づくりへの関心をさらに高めつつ、区全体に地域スポーツクラブの認知を高めることで、両クラブの会員確保と参加者拡大に繋げていく。</p> <p>令和2年度の高齢者はつらつ健康体操教室は、両クラブとも運営を受託しているなかで、各々1会場については、クラブが自主運営する形に移行することで、参加者が他のプログラムへも参加できるよう促す。</p>

事務事業評価表

事務事業名	キャプテン翼CUPかつしかの開催						担当部	教育委員会事務局		関係課	政策企画課 広報課 観光課
							担当課	生涯スポーツ課			
開始年度	平成27年度						個別計画	スポーツ推進計画			
根拠法令	—										
予算説明書	会計	一般	款	8	項	7	目	1	説明等	2(11)	
事務事業目的	青少年の健全育成と地域活性化を目的に、少年サッカーの試合のほか、キャプテン翼ゆかりの自治体と連携することで、葛飾区の魅力、地方の魅力を全国に発信し、地域活性化と自治体間の交流を広げる。										
実施内容	<p>【実施内容】 U-12のジュニアチームによる8人制の少年サッカー大会「キャプテン翼CUP」を、葛飾区と招待チームで実施する。また、漫画「キャプテン翼」に登場するチームゆかりの自治体を招いて物産展を開催することで、区民をはじめ来場者に各地の魅力と、サッカーの街かつしかをPRしていく。</p> <p>この他、エキシビジョンマッチ、トークショーのほか、区民向けにサッカー交流会やステージイベント等を実施する。</p> <p>大会の企画運営は南葛SCへ委託し、会場設営、エキシビジョンマッチに出場する選手の手配、印刷物の作成、出場チームとの連絡調整等を担う。区は委託事業者との調整をはじめ、各自治体との調整、キャラクター版権の使用、招待チームの旅行業務を行う。</p> <p>【実施日】 令和2年1月11日、12日（平成30年度は平成31年1月12日、13日実施） 【会場】 平成29年度 私学事業団総合運動場 陸上競技場※ ※奥戸総合スポーツセンター陸上競技場改修工事のため 平成30年度 奥戸総合スポーツセンター陸上競技場・ 水元総合スポーツセンター多目的広場 令和元年度 奥戸総合スポーツセンター陸上競技場・ 水元総合スポーツセンター多目的広場・ にいじゅくみらい公園運動場多目的広場</p>										

指標		指標の根拠	単位	区分	H29	H30	R1
成果	大会来場者数	チーム関係者、観客、物産来場者等を含めた参加者数	人	目標	7,800	8,800	9,800
				実績	4,920	8,470	12,290
成果	交流自治体数	物産展参加自治体の数	都市	目標	8	8	8
				実績	0	8	8
活動	参加チーム数	サッカー大会に参加したチーム数	チーム	目標	16	16	24
				実績	16	16	24
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—

コスト内訳（千円）		H29	H30	R1	
収入	特定 財源	国庫支出金	0	0	0
		都道府県支出金	5,000	5,000	5,000
		その他	1,000	1,000	1,000
	一般財源 (a)	26,581	27,090	27,864	
支出	直接事業費 (b)	23,106	23,710	25,174	
	職員人件費 (c)	9,475	9,380	8,690	
		業務量（人）	1.25	1.25	1.10
	間接費 (d)	0	0	0	
	調整額 (e)	1,045	1,100	990	
	減価償却費	0	0	0	
	金利	0	0	0	
	退職給与引当	1,045	1,100	990	
	(控) コスト対象外	0	0	0	
	トータルコスト (f=b+c+d+e)	33,626	34,190	34,854	

単位当たりコスト（円）	H29	H30	R1
単位の定義	大会来場者数（人）		
実績数値 (g)	4,920	8,470	12,290
単位あたり区単コスト (a/g)	5,403	3,198	2,267
単位あたりコスト (f/g)	6,835	4,037	2,836

実施状況に対する評価	<p>令和元年度は、ゆかりの地から武蔵野とさいたまの2チームが、さらに一般の区内クラブが4チーム加わり、全24チームが参加した。会場は奥戸と水元の他、2日目に3会場目としてにいじゅくみらい運動公園多目的広場も使用した。夜の交流会にもゆかりの地7地域が揃ったほか、1日目の試合終了後に交流試合の時間を新たに設け、地域間のふれあいを強化した。</p> <p>物産展は今大会も全地域が参加し、現地調理販売は鹿角、静岡の他、新たに武蔵野と富良野が出店した。さいたま、大阪、平戸については昨年同様、現地の名産品を区職員やスポーツボランティアによる販売を展開した。また、前回同様、区内からも出展業者を募った。</p> <p>今大会は「区内の来場者数の増加」を最大の目標とし、協賛企業による場内アトラクションや区民によるステージイベントを展開したほか、区内の一般小学生を対象にしたサッカー交流会を開催した。さまざまな増加要因があり、来場者数は過去最大となった。</p>
今後の方向性【改善】	<p>サッカー大会は24チームによる運営が限界であり、暫くは現状維持による展開となる。今大会に初開催したステージイベントやアトラクション、区民サッカー交流会はいずれも来場者数の増加に貢献していることから、今後も継続していく。</p> <p>ゆかりの地交流会を第1回から夕食ケータリング形式で実施してきたが、次回大会からは、今大会で好評だったフレンドリーマッチを拡充する形で、選手同士の交流がより深まるための企画を検討していく。併せて チームによる旅行費用の一部負担の検討を継続するほか、協賛企業を増やすことで経費削減を目指す。</p> <p>「青少年の健全育成と地域活性化」という基本方針の下、少年サッカー大会の本質は残す一方で、物産展や交流事業については常に時代に即した見直しを図っていく。“キャプテン翼ゆかりのまち葛飾” “サッカーのまち葛飾”をPRするとともに、参加するゆかりの地全自治体の魅力を発信し、連携・協働をさらに強化していく。</p>

事務事業評価表

事務事業名	かつしかふれあいRUNフェスタ事業							担当部	教育委員会事務局	関係課	—
								担当課	生涯スポーツ課		
開始年度	平成25年度							個別計画	スポーツ推進計画		
根拠法令	—										
予算説明書	会計	一般	款	8	項	7	目	1	説明等	2(8)	
事務事業目的	子どもから高齢者まで区民の誰もが参加できるスポーツの機会を提供し、スポーツ実施率の向上や健康増進に取り組むきっかけづくりとするとともに、これを契機に、多世代の交流や地域の交流、さらには、区民や関係団体等との協働をより一層推し進め、スポーツによる元気なまちづくりにつなげていく。										
実施内容	<p>【実施内容】</p> <p>「ふれあい健康RUN（1km～5km）」では、他の多くの大会で見られる年齢による区分ではなく、子どもから高齢者まで、家族や仲間同士が自身の体力に応じた距離で参加することができるとともに、競技性を持たせた「チャレンジRUN（10km・ハーフ）」も実施する。</p> <p>また、区内関係団体や学生などによる運営補助、地元飲食店や協力団体などによるブースの出店、会場付近の商店街などと連携した参加者サービスなどにより「葛飾らしさ」を演出し、会場に訪れる参加者や家族、仲間などが、大いに楽しめるイベントとしていく。</p> <p>企画・運営はかつしかふれあいRUNフェスタ実行委員会を組織して行う。区は実行委員会の事務局として運営を支援するとともに、経費の一部を助成する。</p> <p>【実施日】 3月の第2日曜日 (令和元年度は令和2年3月8日実施予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止、令和2年度は令和3年3月14日実施予定)</p> <p>【会場】 堀切水辺公園および周辺施設</p>										

指標		指標の根拠	単位	区分	H29	H30	R1
活動	出走者からの評価	「大会レポ」採点点数 平均点	点	目標	90	85	85
				実績	80	83	中止
活動	全エントリー数	全種目のエントリー数合計	人	目標	7,420	7,420	7,420
				実績	7,332	7,116	7,488
活動	区民エントリー数	全種目の区民エントリー数合計	人	目標	3,200	3,600	3,600
				実績	3,550	3,527	3,553
活動	協力団体数	イベントに協力した団体の合計	団体	目標	23	23	23
				実績	21	20	22
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—

コスト内訳 (千円)		H29	H30	R1	
収入	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		都道府県支出金	0	0	0
		その他	0	0	0
	一般財源 (a)	34,775	35,091	25,342	
支出	直接事業費 (b)	24,100	24,526	19,812	
	職員人件費 (c)	10,675	10,565	5,530	
		業務量 (人)	1.40	1.40	0.70
	間接費 (d)	0	0	0	
	調整額 (e)	1,188	1,250	630	
	(控) コスト対象外	減価償却費	0	0	0
		金利	0	0	0
		退職給与引当	1,188	1,250	630
		(控) コスト対象外	0	0	0
トータルコスト (f=b+c+d+e)	35,963	36,341	25,972		

単位当たりコスト (円)	H29	H30	R1
単位の定義	全エントリー数 (人)		
実績数値 (g)	7,332	7,116	7,488
単位あたり区単コスト (a/g)	4,743	4,931	3,384
単位あたりコスト (f/g)	4,905	5,107	3,468

実施状況に対する評価	<p>区民エントリー (3,553人)、総エントリー数 (7,488人)、応援団体 (15団体)、運営スタッフ (656人) とともに過去最高を記録したものの、新型コロナウイルス感染拡大の影響によりイベントは中止となった。イベントの実施はできなかったが、大会数を重ねるごとに、本事業の定着が図られ、継続したスポーツ活動の目標となり、また区民の健康増進、多世代の交流や地域の交流などが促進されるイベントになっている。</p>
今後の方向性【改善】	<p>今後も、子どもから高齢者まで幅広い層の区民が、個人や家族、仲間同士でランナーやスタッフ、応援者など、さまざまな形でイベントに参加できる機会を確保しながら、よりスポーツ実施率の向上や健康増進をはじめ、多世代の交流や地域の交流などが促進されるイベントを開催する。そのため、ハーフマラソンの部の一部を公道コースに設定する方向で検討を重ね、今まで以上に魅力のあるイベントへの成長を図る。</p>

事務事業評価表

事務事業名	スポーツフェスティバル						担当部	教育委員会事務局	関係課	—
							担当課	生涯スポーツ課		
開始年度	昭和52年度						個別計画	スポーツ推進計画		
根拠法令	スポーツ基本法									
予算説明書	会計	一般	款	8	項	7	目	1	説明等	2(9)
事務事業目的	<p>体育の日を記念したスポーツの祭典として、区民に広くスポーツへの理解と関心を深め、積極的にスポーツ活動に参加する意欲と高揚を促すとともに、多くの区民にスポーツと健康の大切さを意識させてゆく。</p>									
実施内容	<p>スポーツ基本法第23条に基づき、体育の日において区民に広くスポーツについて関心と理解を深め、かつ積極的にスポーツを行う意欲を高揚するような行事として、区内全スポーツ施設を利用して、各種スポーツイベントを実施する。陸上競技場では、地区対抗競技（参加地区：青少年育成地区委員会19地区）や、誰でも自由に参加できる、パン食いゲームなどの区民大運動会を実施する。また、陸上競技場周辺広場や体育館内では、様々なスポーツ体験コーナー、区内企業や障害者施設によるフードコート、施設を巡ってスタンプを集めるウォークラリーイベントを実施する。その他、温水プールやトレーニングルーム・野球場・テニスコートなど施設無料開放や、民間フィットネスクラブによる協賛プログラムを実施するなど、区民がスポーツを気軽に楽しめる1日となるようなイベントを実施する。企画・運営は関係団体による実行委員会を組織して行う。区は実行委員会の事務局として、各団体間の調整、庶務を行う。</p> <p>また、イベント・教室の運営委託、物品購入等の関連事務を行う。</p>									

指標		指標の根拠	単位	区分	H29	H30	R1
活動	全イベントの参加人数	イベントに参加した延べ人数	人	目標	35,000	38,000	38,000
				実績	40,288	40,306	28,350
活動	実施イベント数	全イベント数	回	目標	95	100	100
				実績	110	117	109
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—

コスト内訳（千円）		H29	H30	R1	
収入	特定 財源	国庫支出金	0	0	0
		都道府県支出金	0	0	0
		その他	0	0	0
	一般財源 (a)	17,955	17,929	18,386	
支出	直接事業費 (b)	10,480	10,524	10,486	
	職員人件費 (c)	7,475	7,405	7,900	
		業務量（人）	1.00	1.00	1.00
	間接費 (d)	0	0	0	
	調整額 (e)	808	850	900	
	減価償却費	0	0	0	
		金利	0	0	0
		退職給与引当	808	850	900
		(控) コスト対象外	0	0	0
トータルコスト (f=b+c+d+e)	18,763	18,779	19,286		

単位当たりコスト（円）	H29	H30	R1
単位の定義	延べ参加者数（人）		
実績数値 (g)	40,288	40,306	28,350
単位あたり区単コスト (a/g)	446	445	649
単位あたりコスト (f/g)	466	466	680

実施状況に対する評価	<p>令和元年度は、自由参加種目の記録走の定員増加や新規の協賛団体を取り込むなど、より多くの方がスポーツデーを楽しめるようイベントを充実させたが、前々日に直撃した台風19号の影響で江戸川河川敷が浸水したことにより、プログラムや施設無料開放が中止となったこと、さらに、当日途中から雨が降ったことにより急遽雨天プログラムに変更となり、一部の運動会プログラムや屋外でのプログラムが中止となったことから、全イベント参加人数は例年を下回る結果となった。</p>
今後の方向性【継続】	<p>区民がスポーツについての理解と関心を深めるスポーツデーとして、より多くの区民があらゆる場面でスポーツと健康を意識し、スポーツを生涯にわたり実践することができるきっかけづくりの一日として様々なイベントになるよう、内容の充実を図る。</p> <p>また、令和3年に延期となった東京2020大会を1年前に控え区民のスポーツに対する期待が高まっているこの機会を活用し、オリンピック・パラリンピックに関連したプログラム等を実施することにより、区民の更なる運動参加意識の向上を図る。</p> <p>なお、祝日法の改正に伴い、令和2年度は体育の日が無いため、10月第2日曜日の実施となる。このため、地区委員会から選手の派遣が困難であるとの報告を受けたため、毎年実施している地区別対抗運動会の実施は見送ることが決定している。</p>

事務事業評価表

事務事業名	スポーツ推進委員との協働事業					担当部	教育委員会事務局			関係課	—
						担当課	生涯スポーツ課				
開始年度	昭和37年度					個別計画	スポーツ推進計画				
根拠法令	スポーツ基本法										
予算説明書	会計	一般	款	8	項	7	目	1	説明等	1(1)	の一部
事務事業目的	スポーツ推進のための事業の実施にかかる連絡調整、並びに住民に対するスポーツの実技の指導その他スポーツに関する指導及び助言を行うほか、行政と地域が協働してスポーツ振興施策を企画立案をして区民の生涯スポーツ活動の環境づくりを支援する。										
実施内容	<p>【スポーツ推進委員とは】 教育委員会が委嘱（定員55名・報酬月額@9,200円・任期2年）スポーツ振興施策への企画・立案への参画、実技指導、スポーツ団体・グループ組織の育成、地域スポーツの推進のための連絡・調整などを図るために活動をしている。</p> <p>【教育委員会関連事項】 常任委員会・定例会や委嘱・退任等の関連事務を行う。 スポーツ推進委員の主な職務：区・教育委員会事業への協力・体育関連の研究・調査、地域スポーツ振興、学校開放支援活動を行う。</p> <p>【スポーツ推進委員主催・協力事業】 紅葉ウォーキング・区民体力テスト測定会（以上主催事業：共催含む） こどもまつり・スポーツフェスティバル・かつしかふれあいRUNフェスタ（以上協力事業）など</p>										

指標		指標の根拠	単位	区分	H29	H30	R1
活動	スポーツ推進委員活動人数	主催・協力事業及び研修会に参加したスポーツ推進委員の述べ人数	人	目標	1,500	1,500	1,500
				実績	1,470	1,521	1,258
活動	主催・協力事業数	全主催・協力事業及び研修会活動回数	回	目標	55	55	55
				実績	52	56	49
活動	延べ参加者数	主催・協力事業における参加者総数	人	目標	50,000	50,000	50,000
				実績	49,685	49,283	37,795
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—

コスト内訳（千円）			H29	H30	R1
収入	特定 財源	国庫支出金	0	0	0
		都道府県支出金	0	0	0
		その他	0	0	0
	一般財源	(a)	11,757	11,942	10,498
支出	直接事業費	(b)	6,862	7,111	6,450
	職員人件費	(c)	4,800	4,740	3,950
		業務量（人）	0.60	0.60	0.50
	間接費	(d)	95	91	98
	調整額	(e)	570	600	450
		減価償却費	0	0	0
		金利	0	0	0
		退職給与引当	570	600	450
		（控）コスト対象外	0	0	0
	トータルコスト	(f=b+c+d+e)	12,327	12,542	10,948

単位当たりコスト（円）	H29	H30	R1	
単位の定義	延べ参加者数（主催・協力事業）（人）			
実績数値	(g)	49,685	49,283	37,795
単位あたり区単コスト	(a/g)	237	242	278
単位あたりコスト	(f/g)	248	254	290

実施状況に対する評価	<p>平成29年度に水元総合スポーツセンター公園のオープニングセレモニーに合わせて同日実施した「お花見ウォーキング」と「かつしかシティロゲイニング」を別日程にて実施し、「お花見ウォーキング」は11月に「紅葉ウォーキング」と名称変更し、実施。天候にも恵まれ105人を集めた。</p> <p>「かつしかふれあいRUNフェスタ」「かつしかシティロゲイニング」は新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため中止となった。このため協力事業の参加者数が大幅に減少している。全7回の体力テストの参加者は前年度を大幅に下回ったものの、試験的に実施したシニアフェアでの出前形式では120人、東急ストア金町店では40人の参加があり、減少幅を最小限に留めた。</p>
今後の方向性【継続】	<p>従来、区内小中学校で開催していた体力テスト測定会の参加者が減少傾向にあるため、令和2年度からは奥戸・水元総合スポーツセンターにて大規模実施に取り組むとともに、各課が実施するイベントへ出前実施することで参加の敷居を低くして、参加者増に取り組む。また、引き続きスポーツ推進委員にニュースポーツの提案をし、地域への普及に取り組む。</p>

事務事業評価表

事務事業名	区民体育大会						担当部	教育委員会事務局		関係課	—
							担当課	生涯スポーツ課			
開始年度	昭和23年						個別計画	スポーツ推進計画			
根拠法令	—										
予算説明書	会計	一般	款	8	項	7	目	1	説明等	2(7)	
事務事業目的	区民が日頃の練習の成果を試す機会を提供し、各世代に合わせた競技力向上・健康維持増進、また継続的にスポーツに親しめるようにする。										
実施内容	<p>体育協会加盟の各団体が主管となり、各種目において少年少女から高齢者を対象とした区民体育大会（春季約30種目・夏季3種目・秋季約30種目・冬季2種目・通年1種目）、墨東五区大会（葛飾区当番区年度内2～3種目）、都民大会（春季28種目・夏季2種目・冬季2種目）を実施する。区民体育大会および墨東五区大会において区は会場の確保、物品の購入、賞状・プログラムの印刷等の契約事務、広報紙・インターネットによる各大会の募集案内、大会要項・申込書配布などを行い、大会の運営は体育協会加盟の各団体が行う。</p>										

指標		指標の根拠	単位	区分	H29	H30	R1
活動	区民体育大会の延べ参加人数	—	人	目標	32,000	32,000	32,000
				実績	29,122	30,728	30,157
活動	区民体育大会の延べ大会数	—	回	目標	69	69	69
				実績	68	68	66
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—

コスト内訳（千円）		H29	H30	R1	
収入	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		都道府県支出金	0	0	0
		その他	0	0	0
	一般財源 (a)	24,573	24,151	24,742	
支出	直接事業費 (b)	15,023	14,611	15,262	
	職員人件費 (c)	9,550	9,540	9,480	
		業務量（人）	1.50	1.50	1.20
	間接費 (d)	0	0	0	
	調整額 (e)	760	800	1,080	
	減価償却費	0	0	0	
	金利	0	0	0	
	退職給与引当	760	800	1,080	
	(控) コスト対象外	0	0	0	
	トータルコスト (f=b+c+d+e)	25,333	24,951	25,822	

単位当たりコスト（円）	H29	H30	R1
単位の定義	延べ参加者数（人）		
実績数値 (g)	29,122	30,728	30,157
単位あたり区単コスト (a/g)	844	786	820
単位あたりコスト (f/g)	870	812	856

実施状況に対する評価	<p>令和元年度は10月に発生した台風の影響で、河川敷のスポーツ施設が約3～4か月にわたって使用不能となり、野球・サッカー・ソフトボール等、リーグ戦形式で実施していた競技については日程が消化しきれず、予定していた試合の約半分が未消化に終わった。大会は成立しているため参加者数の大幅減は避けられたが、駅伝競走大会は例年の11月に開催できず2月に延期したことで参加者が半減するなど、少なからず影響を受けた。</p> <p>さらに年度末に発生した新型コロナウイルスの影響で、春季クレ射撃大会が中止となったほか、春季バスケットボール大会も途中で打ち切りとなった。</p>
今後の方向性【継続】	<p>体育協会が目指す競技力の向上について、都民体育大会でも上位の成績を収める競技が増えてきており、男女とも総合順位は前年から上昇している。今後も体育協会と連携しながら、競技人口の拡大と競技力の向上を目指すべく、「区民健康スポーツ参加促進事業」に参加した方が競技者となり、競技人口が拡大するように取り組んでいく。</p>

事務事業評価表

事務事業名	少年スポーツ等推進						担当部	教育委員会事務局		関係課	—
							担当課	生涯スポーツ課			
開始年度	—						個別計画	スポーツ推進計画			
根拠法令	—										
予算説明書	会計	一般	款	8	項	7	目	1	説明等	2(4)	
事務事業目的	区内小中学生等に対して、様々なスポーツの機会を提供することで、健康でいきいきとした生活を送ることができる状態にする。										
実施内容	<p>【概要】 主として小学生・中学生に対しスポーツを始めるきっかけづくりの場としての教室や気軽に参加できるスポーツ大会など多様なスポーツの機会を提供するために実施する。 区は事業の企画・立案、事業実施に必要な指導員の手配、各種契約、広報等の関連事務を行う。スポーツ教室・スポーツ大会の運営は基本的に各スポーツ団体に委託して実施する。</p> <p>【活動内容】 スポーツ教室 区民スポーツ大会（ジュニアエンジョイスports） 水泳管理指導員養成講習会 東京オリンピック・パラリンピック関連事業（トランポリン大会）など</p>										

指標		指標の根拠	単位	区分	H29	H30	R1
活動	少年スポーツ等教室参加者数	—	人	目標	220	220	220
				実績	232	383	843
活動	全教室の実施回数の合計	—	回	目標	6	6	6
				実績	4	9	12
活動	少年スポーツ等区民スポーツ大会参加者数	延べ参加者数（エンジョイスports総合開会式＋当日のスポーツ教室＋ジュニアエンジョイスports大会）＋その他の大会（人）	人	目標	22,500	23,000	23,500
				実績	23,406	18,809	20,058
活動	大会数	—	回	目標	17	17	17
				実績	18	20	19
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—

コスト内訳（千円）		H29	H30	R1	
収入	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		都道府県支出金	0	0	0
		その他	0	0	0
	一般財源 (a)	24,838	23,068	23,952	
支出	直接事業費 (b)	16,513	14,808	15,262	
	職員人件費 (c)	8,325	8,260	8,690	
		業務量（人）	1.15	1.15	1.10
	間接費 (d)	0	0	0	
	調整額 (e)	855	900	990	
	減価償却費	0	0	0	
	金利	0	0	0	
	退職給与引当	855	900	990	
	(控) コスト対象外	0	0	0	
	トータルコスト (f=b+c+d+e)	25,693	23,968	24,942	

単位当たりコスト（円）	H29	H30	R1
単位の定義	延べ参加者数（エンジョイスポーツ総合開会式＋当日のスポーツ教室＋ジュニアエンジョイスポーツ大会）＋その他の大会（人）		
実績数値 (g)	23,406	18,809	20,058
単位あたり区単コスト (a/g)	1,061	1,226	1,194
単位あたりコスト (f/g)	1,098	1,274	1,243

実施状況に対する評価	令和元年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ジュニアスキー教室と中学生バレーボール大会が中止となったことなどから、スポーツ大会の参加者数は前年比1,000人程度減少した。一方で、エンジョイスポーツ総合開会式が2年ぶりに通常開催となったことで、当日のイベント参加者数は一昨年並みに回復した。さらに東京2020大会の気運醸成イベントとして「レッツチャレンジスポーツ」を開催し、約1,000人の参加者を募ったことで、少年スポーツ等区民スポーツ大会の参加者数は、前年より増加した。
今後の方向性【継続】	少年少女向けのスポーツ教室や体験会の参加者が好調ではあるが、一方で大会参加者数が減少している。今後も（一社）葛飾区体育協会と協働して、東京2020大会を契機として、ジュニア層が様々な競技を体験することにより、スポーツの楽しさを実感する機会を増やしていく。

事務事業評価表

事務事業名	地域スポーツ活動推進							担当部	教育委員会事務局		関係課	—
								担当課	生涯スポーツ課			
開始年度	—							個別計画	スポーツ推進計画			
根拠法令	—											
予算説明書	会計	一般	款	8	項	7	目	1	説明等	2(10)		
事務事業目的	地域及び自主グループ等が主体となって実施するスポーツ活動を支援することにより、区民が身近な場所でスポーツ活動を楽しみ、継続的に実施できるように促す。											
実施内容	<p>区は本事業の実施に際し、下記の業務を担当する。</p> <p>【地区ロードレース】 地域のスポーツ行事を運営支援し、企画・立案に関する指導・助言や、運営物品の貸し出しを行う。</p> <p>【健康体操（コミュニティー健康体操）の実施】 自主サークル等のスポーツ活動に対し、指導員派遣・自主サークル等の運営の指導・助言を行う。</p> <p>【ニュースポーツ用具の貸出し】 グラウンド・ゴルフや輪投げ等の用具を、地域や自主サークルの要望に応じて、無料で貸し出す。</p> <p>【私学事業団総合運動場活用事業】 私学事業団総合運動場を活用した事業の企画・立案及び運営を行う。</p> <p>【葛飾区トップアスリート活動助成金】 葛飾区にゆかりのあるアスリートのなかから、東京2020大会の出場を目指す選手に向けて、年間上限を20万円として、活動費の一部を助成する。 なお、パラアスリートについては介助費として、15万円を上限として助成する。 このほか、区スポーツイベントや教室にトップアスリートを講師として招聘し、区民と触れ合うことで、区のスポーツ振興に関わってもらう。</p>											

指標		指標の根拠	単位	区分	H29	H30	R1
活動	地区ロードレース大会の参加者数	—	人	目標	16,000	16,000	16,000
				実績	13,050	12,561	8,849
活動	地区ロードレース大会数	—	回数	目標	19	19	19
				実績	17	18	14
活動	健康体操の参加者数	—	人	目標	1,500	1,500	1,500
				実績	584	110	64
活動	健康体操指導員の派遣件数	年間通しての全派遣数	件	目標	60	60	5
				実績	56	2	2
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—

コスト内訳（千円）		H29	H30	R1	
収入	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		都道府県支出金	0	0	0
		その他	0	0	0
	一般財源 (a)	8,104	12,085	11,546	
支出	直接事業費 (b)	3,379	7,380	7,596	
	職員人件費 (c)	4,725	4,705	3,950	
		業務量（人）	0.70	0.70	0.50
	間接費 (d)	0	0	0	
	調整額 (e)	428	450	450	
		減価償却費	0	0	0
		金利	0	0	0
		退職給与引当	428	450	450
		(控) コスト対象外	0	0	0
	トータルコスト (f=b+c+d+e)	8,532	12,535	11,996	

単位当たりコスト（円）	H29	H30	R1
単位の定義	派遣指導件数（件）		
実績数値 (g)	56	2	2
単位あたり区単コスト (a/g)	144,714	6,042,500	5,773,000
単位あたりコスト (f/g)	152,357	6,267,500	5,998,000

実施状況に対する評価	<p>令和元年度は下半期に悪天候が続き、地区ロードレースは5会場も中止となったため、参加者数が大幅に減少した。健康体操についても当初3回の実施を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大が影響し、1回が中止となった。</p> <p>私学事業団総合運動場で実施したテニス教室はジュニア、社会人とも同様の理由で、それぞれ年間3回が中止となった。それでも、ジュニアテニス教室の参加者は27人増加した。</p> <p>ニュースポーツの貸出について、ボッチャの貸し出し件数が倍増になったほか、グラウンド・ゴルフや輪投げなどの貸出が好調であり、前年対比で24件増加した。</p>
今後の方向性【改善】	<p>地区ロードレース大会については引き続き、「かつしかふれあいRUNフェスタ」の地区選手枠を設けることで、ランニング・ウォーキング事業の推進を目指していく。また、来年度も私学事業団施設を活用したテニス教室や少年野球開放事業についても継続し、事業の安定化を目指す。さらに、東京2020大会の出場を目指す葛飾ゆかりのアスリート支援を強化し、大会の気運醸成を強化していく。</p>

事務事業一覧表

事務事業名	担当部 担当課		関係課	コスト内訳等（千円）			活動指標（b）						
	予算説明書（会計、款、項、目、説明等）			H29	H30	R1	単位	H29	H30	R1			
事業内容													
スポーツ推進委員委嘱	教育委員会事務局		—	収入	特定財源	0	0	0	委嘱者数	人	54	54	53
	生涯スポーツ課				一般財源	7,562	7,542	6,734					
一般	5	1	2	1(9)									
青少年育成地区委員会や体育協会及びその加盟団体等から推薦された者がスポーツ推進委員として活動するために、教育委員会が委嘱する。 (定員55名・報酬月額@9,200円・任期2年)。				支出	事業費	5,962	5,962	5,944					
					人件費	1,600	1,580	790					
				業務量(人)	0.20	0.20	0.10						
				間接費	0	0	0						
				調整額	190	200	90						
				トータルコスト (a)	7,752	7,742	6,824						
				単位当たり コスト(円) (a/b)	143,556	143,370	128,755						

事務事業一覧表

事務事業名				担当部 担当課	関係課	コスト内訳等（千円）			活動指標（b）						
						予算説明書（会計、款、項、目、説明等）			H29	H30	R1	単位	H29	H30	R1
事業内容															
体育協会助成				教育委員会事務局 生涯スポーツ課	—	収入	特定財源	0	0	0	体育協会加盟団体数	団体	39	39	39
							一般財源	3,450	3,625	3,790					
一般	8	7	1	3(1)			事業費	3,000	3,000	3,000					
葛飾区体育協会が行う事業に要する経費の一部を補助する。 【対象事業】 区民体育大会の開催・墨東五区（足立、江戸川、墨田、江東、葛飾）共催大会の開催、都民体育大会参加選手に対する助成、単位団体活動の助成及び育成、講習会の開催、スポーツ指導者の育成に関する事業						支出	人件費	450	625	790					
							業務量(人)	0.10	0.10	0.10					
							間接費	0	0	0					
							調整額	0	50	90					
							トータルコスト (a)	3,450	3,675	3,880					
							単位当たり コスト(円) (a/b)	88,462	94,231	99,487					

事務事業一覧表

事務事業名	担当部 担当課		関係課	コスト内訳等（千円）			活動指標（b）						
	予算説明書（会計、款、項、目、説明等）			H29	H30	R1	単位	H29	H30	R1			
事業内容													
文化・スポーツ活動費助成	教育委員会事務局 生涯スポーツ課		—	収入	特定財源	0	0	0	助成対象者	人	733	838	862
				一般財源	10,573	6,041	7,523						
一般	8	6	1		事業費	8,698	5,416	5,153					
1(4)				支出	人件費	1,875	625	2,370					
文化・スポーツ活動を行う個人・団体が、東京都大会以上の大会等に出場する際の交通費・運搬費・宿泊費の一部を助成する。 【交通費】 日本国内については標準交通費、日本国外については10万円を上限とした往復の交通に要する経費 【運搬費】 10万円を上限とした資器材等を運搬に要する経費 【宿泊費】 1泊につき1人あたり7千円を上限とした活動期間中の宿泊に要する経費					業務量(人)	0.30	0.10	0.30					
					間接費	0	0	0					
					調整額	143	50	270					
				トータルコスト	(a)	10,716	6,091	7,793					
				単位当たり	コスト(円) (a/b)	14,619	7,268	9,041					

施策 番号	2202	成果指標					
		指標名	単位	区分	H29	H30	R1
施策 名	スポーツを支える基盤 を整備します	スポーツ施設の利用者数	万人	目標	334.3	338.9	346.0
				実績	335.5	342.6	299.1
		—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—
		—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—

		事務事業	担当課	区分	頁
	計画	スポーツ施設の利用しやすい環境整備	生涯スポーツ課	◎	1357
		体育施設管理運営	生涯スポーツ課	◎	1359

- ※「計画」は、後期実施計画に位置付けている事務事業であることを表します。
 ※「◎」は、事務事業評価表を作成した事務事業であることを表します。
 ※「○」は、事務事業一覧表を作成した事務事業であることを表します。

事務事業評価表

事務事業名	スポーツ施設の利用しやすい環境整備					担当部	教育委員会事務局		関係課	—
						担当課	生涯スポーツ課			
開始年度	平成28年度					個別計画	スポーツ推進計画			
根拠法令	葛飾区体育施設条例、スポーツ基本法									
予算説明書	会計	一般	款	8	項	7	目	2	説明等	1(2)(3)
事務事業目的	スポーツ施設を安心して利用できるよう老朽化に伴う改修や、利便性・安全性を向上させるための計画的なスポーツ施設の改修などに取り組んでいきます。									
実施内容	<p>【概要】 安全で快適にスポーツができる環境を提供するため、老朽化したスポーツ施設の計画的な改修を推進する。また、水元公園内に新たにスポーツクライミング施設を整備する。</p> <p>【活動内容】 ①奥戸総合スポーツセンター体育室天井改修 ②テニスコート改修工事 ③奥戸総合スポーツセンター野球場改修等工事 ④温水プール館・エイトホール改修工事 ⑤荒川河川敷グラウンド改修工事 ⑥スポーツクライミング施設建設工事</p>									

指標		指標の根拠	単位	区分	H29	H30	R1
活動	スポーツ施設の利用者数	—	人	目標	3,342,876	3,388,581	3,459,768
				実績	3,355,031	3,425,513	2,991,173
活動	奥戸総合スポーツセンター体育室天井改修	—	—	目標	—	設計委託	改修工事
				実績	—	設計委託	改修工事
活動	テニスコート改修工事	—	—	目標	—	渋江・上千葉照明改修工事	奥戸総合スポーツセンターテニスコート改修工事
				実績	渋江・上千葉照明設備設計	渋江・上千葉照明改修工事	奥戸総合スポーツセンターテニスコート改修工事
活動	奥戸総合スポーツセンター野球場改修等工事	—	—	目標	—	—	改修計画策定支援委託
				実績	—	—	改修計画策定支援委託
活動	温水プール館・エイトホール改修工事	—	—	目標	—	—	エイト外壁、温水床改修工事
				実績	—	—	エイト外壁、温水床改修工事
活動	荒川河川敷グラウンド改修工事	—	—	目標	—	—	測量委託
				実績	—	—	測量委託
活動	スポーツクライミング施設建設工事	—	—	目標	—	設計委託	設計委託・建設工事
				実績	—	設計委託	設計委託・建設工事

コスト内訳（千円）		H29	H30	R1	
収入	特定 財源	国庫支出金	0	0	0
		都道府県支出金	252,283	181,126	200,000
		その他	445,000	375,000	384,000
	一般財源 (a)	167,057	135,639	295,213	
支出	直接事業費 (b)	845,940	671,225	853,933	
	職員人件費 (c)	18,400	20,540	25,280	
		業務量（人）	2.30	2.60	3.20
	間接費 (d)	0	0	0	
	調整額 (e)	76,868	106,662	-165,441	
	減価償却費	104,062	104,062	93,870	
	金利	10,111	0	0	
	退職給与引当	2,185	2,600	2,880	
	(控) コスト対象外	39,490	0	262,191	
	トータルコスト (f=b+c+d+e)	941,208	798,427	713,772	

単位当たりコスト（円）	H29	H30	R1
単位の定義	施設整備着手数		
実績数値 (g)	8	7	8
単位あたり区単コスト (a/g)	20,882,125	19,377,000	36,901,625
単位あたりコスト (f/g)	117,651,000	114,061,000	89,221,500

実施状況に対する評価	葛飾区東金町運動場スポーツライミングセンターの工事が竣工した。令和2年度より供用開始となり、より多くの区民にスポーツ活動の場を提供することが可能となる。また、奥戸総合スポーツセンターの体育室天井の改修工事やテニスコートの改修工事など、施設を改修することで安全で快適にスポーツができる環境を区民に提供することができた。
今後の方向性【継続】	令和2年度には、葛飾区東金町運動場スポーツライミングセンターが供用を開始し、より区民のスポーツ参加機会の拡大を目指す。また、奥戸総合スポーツセンターエイトホール・野球場改修設計委託やにいじゅくみらい公園多目的広場に観覧席を設置する工事を行うなど、区民が安全で快適にスポーツ活動に取り組める施設を目指すとともに、「見る」スポーツの充実を図る。

事務事業評価表

事務事業名	体育施設管理運営				担当部	教育委員会事務局		関係課	—	
					担当課	生涯スポーツ課				
開始年度	昭和59年度				個別計画	スポーツ推進計画				
根拠法令	地方自治法、葛飾区体育施設条例、 葛飾区の公の施設における指定管理者の指定の手続きに関する条例、スポーツ基本法									
予算説明書	会計	一般	款	8	項	7	目	1	説明等	2(1)
事務事業目的	指定管理者制度を導入し、民間事業者の柔軟な発想による経営手法及び質の高い企画能力を活用し、サービスの向上及び利用者ニーズへのより迅速な対応を図る。									
実施内容	<p>【概要】 体育施設の運営に関して、地方自治法第244条の2第3項に基づき指定管理者制度を導入し、民間事業者と協働して開館日や利用時間及び利用種目等を拡充させる。そしてスポーツ施設を有効に活用した事業を実施し、利用者数の増大、施設及びコースの満足度向上に努める。運営状況については、主管課が指定管理者の報告を受けながら適宜、管理を行う。</p> <p>【活動内容等】 ①体育・スポーツ及びレクリエーションの指導並びに普及に関すること ②健康増進及び体力向上に関すること ③体育施設の使用に関すること ④体育施設の維持管理に関すること</p>									

指標		指標の根拠	単位	区分	H29	H30	R1
活動	体育施設の利用者数	—	人	目標	2,442,894	2,500,977	2,566,407
				実績	2,476,215	2,540,997	2,172,446
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—

コスト内訳（千円）		H29	H30	R1	
収入	特定 財源	国庫支出金	0	0	0
		都道府県支出金	0	0	0
		その他	0	0	0
	一般財源 (a)	870,409	922,309	1,139,233	
支出	直接事業費 (b)	848,448	899,999	1,114,645	
	職員人件費 (c)	18,400	17,775	24,490	
		業務量（人）	2.30	2.25	3.10
	間接費 (d)	3,561	4,535	98	
	調整額 (e)	206,132	206,197	213,655	
	減価償却費	203,947	203,947	201,732	
	金利	0	0	9,133	
	退職給与引当	2,185	2,250	2,790	
	（控）コスト対象外	0	0	0	
	トータルコスト (f=b+c+d+e)	1,076,541	1,128,506	1,352,888	

単位当たりコスト（円）	H29	H30	R1
単位の定義	管理対象面積（㎡）		
実績数値 (g)	441,040	441,040	441,040
単位あたり区単コスト (a/g)	1,974	2,091	2,583
単位あたりコスト (f/g)	2,441	2,559	3,067

実施状況に対する評価	—
今後の方向性	—